SANWA SUPPLY

USBスクロールマウス(USB Scroll mouse)
取扱説明書

Scroll mouse USB

MA-433USB

USBスクロールマウス

最初にご確認ください。

セット内容

- ●USBスクロールマウス(MA-433USB) 1台
- ●ドライバソフト(3.5")……1枚
- ●取扱説明書 ……1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

目　次

1 ●警　告
2 ●はじめに (特長、スクロールについて)
●必要なハードウェア・ソフトウェア
3 ●マウスの接続
4 ●USBマウスが動作しなかった場合
●USBスクロールマウスの使用方法
5 (各部の機能)
6 (クイックスクロール・オートスクロール・ズーム)
7 ●各機能の設定(USBスクロールマウスの設定)
8 (ホイール機能の設定)
9 (ボタンの設定)

警　告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- ●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- ●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- ●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- ●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注　意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

※この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

はじめに

この度は、USBスクロールマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はUSB規格のマウスです。USB(UniversalSerialBus)は、コンピュータとコンピュータ周辺機器を、従来より簡単に接続するために開発された新規格です。
このUSBスクロールマウスは、マウスのホイールボタン（スクロールボタン）を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単にスクロールが行えるようになります。
また、この商品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション（スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、データズームなど）が行えます。

必要なハードウェア・ソフトウェア

●ハードウェア
各社DOS/Vパソコン（CPUがPentium以上で、USBポートを持つ機種）

●ソフトウェア
Microsoft Windows 95 OEM Service Release(OSR2.1)4.00.950B以降でUSBドライバの追加を行ってください。(下図)

これができない場合、マイクロソフト社または各コンピュータメーカーにお問い合わせください。Windows 98では、システム標準でUSBをサポートしています。

マウスの接続

■ Windows 98 の場合

※Windows 98では、システム標準でUSBをサポートしデバイスドライバも組み込まれていますので、添付のドライバソフトを使用してスクロール機能を追加します。

① まず初めに、USB Scroll Mouse ドライバをコンピュータにインストールします。コンピュータの電源を入れ、Windows 98 を起動させます。
② 「スタート」から「ファイル名を指定して実行（R）」を選んでください。
③ 名前（O）A:setup.exeと入力し、ドライバソフトをフロッピードライブに挿入して ── OK（フロッピードライブがAドライブの場合）
④ Sanwa USB Scroll Mouseインストールドライバが実行され、「ようこそ」画面で ── 次へ（N）
⑤ 「インストール開始」画面で ── 次へ（N）
⑥ 「セットアップ完了」画面で ── 完了
⑦ USB Scroll Mouseドライバがインストールされましたので、次に、マウスをコンピュータに接続します。

■ Windows 95 OSR2.1（4.00.950B）以降の場合

※USB規格の本製品を接続する前に、システムがUSBを認識可能になっていることを確認しておいてください。

① まず初めに、USB Scroll Mouse ドライバをコンピュータにインストールします。コンピュータの電源を入れ、Windows 95を起動させます。
② 「スタート」から「ファイル名を指定して実行（R）」を選んでください。
③ 名前（O）A:setup.exeと入力し、ドライバソフトをフロッピードライブに挿入して ── OK（フロッピードライブがAドライブの場合）
④ Sanwa USB Scroll Mouseインストールドライバが実行され、「ようこそ」画面で ── 次へ（N）
⑤ 「インストール開始」画面で ── 次へ（N）
⑥ 「セットアップ完了」画面で ── 完了
⑦ USB Scroll Mouseドライバがインストールされましたので、次に、マウスをコンピュータに接続します。

この設定をした後で、マウスを接続するUSBポートを変更した場合、ハードウェアウィザードが起動します。その際、デバイスドライバはすでにHDD上に存在しますので、C:\Windows\System（Cが起動ドライブの場合）というパス名を入力してください。

USBマウスが動作しなかった場合以下の項目を確認してください。

■ USB Supplementがセットアップされていない場合

●Windows 95 CD-ROMにWith USB Supportと明記されている場合、CD-ROM内のusbsupp.exeを実行して、USB Supplementをセットアップしてください。With USB Supportと明記されていない場合は、各社パソコンメーカーにお問い合わせください。
●USB Supplement to OSR2ドライバがある場合、インストールしてください。

■ BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

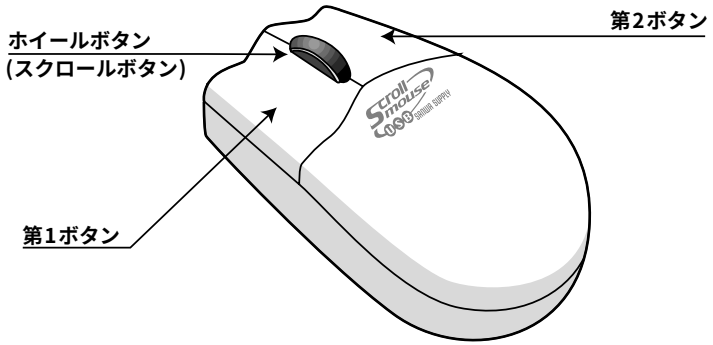
■ Windows95がOSR2.1以降のバージョンかどうか確認してください。

Windows 95のバージョンが4.00.950B以降でないとUSBマウスはご使用になれません。(4.00.950/Aは対応不可)

USBスクロールマウスの使用方法

■各部の名称

このUSBスクロールマウスにはホイールコントロール（ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。またボタン機能としての設定に変更することも可能です。）機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。（スクロール、オートスクロール、クイックスクロール）
この商品は、Microsoft IntelliMouse機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション（スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、ズーム、データズームなど）が行えます。



USBスクロールマウスの使用方法

■第1ボタン・第2ボタン

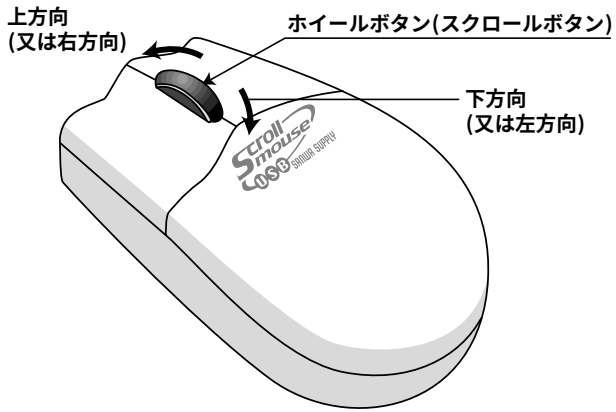
第1ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。これは、一般のマウスでは左ボタンになっています。また、第2ボタンはWindows 95でのアプリケーションごとに設定されているマウスの働きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。これは、一般のマウスでは右ボタンになっています。
左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

■ホイール(Wheel)ボタン

この機能で、ホイールボタンを「Windows 95キーボードファンクション」として割り当てることができます。ここで、選択できる機能は「Close」「Double Click」「Maximize Windows」「Minimize Windows」「Restore Windows」などです。例えば、ホイールボタンをボタン機能として割り当て、さらにそれをダブルクリック機能に設定することができるのです。

■スクロール

スクロールとはウィンドウ内を上下、左右へと移動させることをいい、通常水平スクロールバーと、垂直スクロールバーをクリックすることでスクロールが可能になります。スクロールマウスではホイールを回転させることでスクロールができます。
カーソルをスクロールバー内の位置に持っていき、ホイールを回転させてください。この時のスクロールの方向が水平方向であるか垂直方向であるかは、スクロールバー上にあるカーソルの位置によってマウスが自動的に判断してくれます。初期設定では、ホイールをモニタ方向に回転させると、上または右方向（スクロールバー上のカーソルの位置による）にスクロールされます。手前方向に回転させると、下または左方向にスクロールされます。この方向の変更は、「ホイールタブ(Wheel)」の中の Settings で「Reverse Scrolling Direvtion」をクリックすると可能です。



USBスクロールボタンの使用方法

■クイックスクロール (Quick Scroll)

クイックスクロールは初期設定で既に設定されています。この機能で、ページごとまたは1行ごとのスクロールが簡単に行えます。ホイールボタンを押したまま、マウスをずらすとスクロールできます。スクロールアクシス設定用のコントロールテーブルもあります。
また、必要に応じて「Initial」「Predominant」の2種類の設定ができます。スクロールアクシスが「Initial」設定されている場合、水平方向にも垂直方向にもスクロールすることができ、「Predominant」に設定されている場合は、垂直方向にしかスクロールすることができません。

■オートスクロール (Auto Scroll)

これは、初めに少しスクロールするだけで、後は自動的にスクロールを続けてくれるという機能です。例えば、ホイールボタンを押したまま、マウスを手前に動かして少しスクロールするとそのままずっとスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
また、オートスクロールのスクロールのスピードを「ホイールタブ（Wheel）」で設定することができます。「ホイールタブ（Wheel）」中のスクロールバーを右方向にドラッグするとスピードが上がり、左方向にドラッグするとスピードは下がります。
さらに、マウスの動きによってスピードをコントロールすることもできます。マウスを速く動かせばスピードも上がり、ゆっくり動かせばスピードは下がります。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Zoom in」で倍率が上がります。「Zoom out」で倍率が下がります。また、コントロールキーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

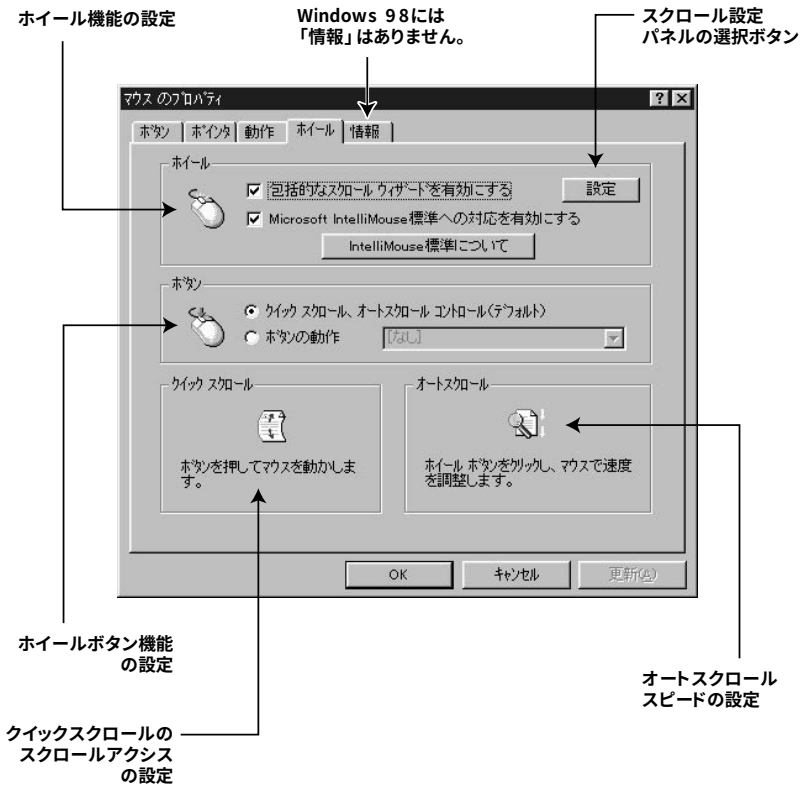
■データのズーム

データについてのズームもMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。
この機能で、ウィンドウ内のズームの調整ができます。「Shift」キーを押しながらホイールボタンを回転させると、データのズームができます。
また、アプリケーションによってはデータのズーム機能は多少異なります。例えば、Internet Explorerではハイパーリンクによるジャンプや元の画面に戻ることができたり、Microsoft Wordではヘッダーやテキストのアウトラインを拡大、縮小することができたりします。

各機能の設定

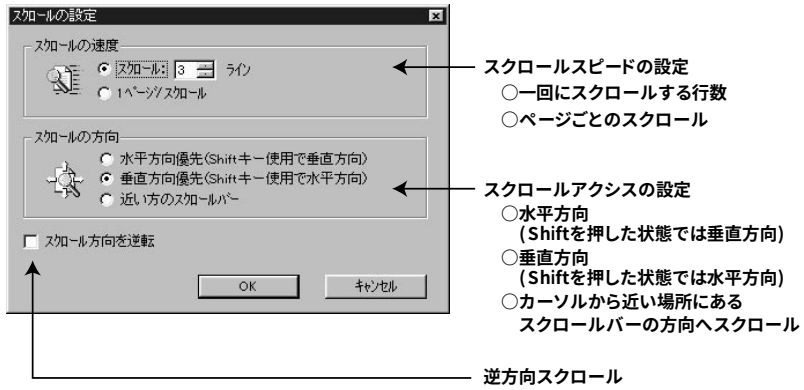
■ USBスクロールマウスの設定

「USBスクロールマウス」は、お好みに合わせて設定し直すことができます。
まず、「スクロールマウスドライバ」をインストールするとマウスプロパティに「ホイールタブ」が追加されます。このホイールタブで「スクロールマウスホイール」と「ホイールボタン」の設定ができます。



■ ホイール機能の設定

「USBスクロールマウス」には「generic scrolling wizard」と「Microsoft Intelli Mouse standard support」があります。「generic scrolling wizard」はスクロールマウス特有の設定で、スクロールスピード、スクロールアクシス、逆方向のスクロールの設定を設定ボックスで変えることができます。また、「Microsoft Intelli Mouse standard support」を選択すると「Microsoft IntelliMouse」と同様の機能になります。
初期設定では両方に対応しています。
スクロール設定の詳しい内容に関しては、次の説明をお読みください。



●スクロールスピード (Scrolling Speed)

これでホイールのスクロールスピードの調節ができます。1行1行の設定、またはページごとの設定ができます。スクロールユニットを選択すれば、行数の設定もできます。

●スクロールアクシス (Scrolling Axis)

「水平方向」、「垂直方向」、「またはカーソルから近い場所にあるスクロールバー（水平方向、垂直方向の両方のスクロールバーがある場合）」のどれかを選択できます。「Horizantal Preferred」を選択すると水平方向に（「Shift」を押した状態では垂直方向、または垂直方向のスクロールバーの上にカーソルを置きホイールを回転させる）スクロールします。「Nearest Scrollbar」オプションを選択すると、ドライバが自動的に近くにあるスクロールバーの方向へスクロールをします。

●逆方向スクロール (Reverse Scrolling Derection)

この設定パネルの「Reverse Scrolling Direction」ボックスをクリックすると、スクロールの方向を逆にすることができます。

■ボタンの設定

ボタンボックスでホイールボタンを「クイックスクロール」と「オートスクロール」のスタートキーとして設定することもでき、またホイールボタンを「ボタン」として機能させる設定もできます。例えば、クイックスクロールと、オートスクロールに設定されている場合、ホイールボタンを押したままマウスをモニタ方向に動かすと、マウスの動く速さによってスクロールのスピードが変わります。ホイールボタンを放すとスクロールが止まります。
ボタンとして機能させた場合は、そのボタンの機能を「リストボックス」の中から選択してください。

■クイックスクロール設定 (Quick Scroll)

このボックスでスクロールアクシスを「Initial」または「Predominant」に設定します。「Initial」の場合は、初めにスクロールした方向で続けてスクロールします。「Predominant」の場合は、マウスの動かす方向を変えるとスクロール方向も変わります。

■オートスクロール設定 (Auto Scroll)

オートスクロールボックスで、オートスクロールのスピードの設定ができます。スクロールバーを右方向にドラッグするとスピードが上がり、左方向にドラッグするとスピードは下がります。